

なりすましとシステム障害から マシンをプロテクト

~多要素認証ソリュ<u>ーション「EVEシリーズ」と</u> ActiveImage Protector -REの連携 ~

Multi Authentication EVE MA



EVE FA

Activelmage - RE PROTECTOR

> 株式会社ラネクシー 第1営業本部 プロダクトソリューション部 (2022.03.17)















ActiveImage Protector -RE インストールについて





- ① EVEシリーズ構築後に ActiveImage Protector -RE を インストールしてください。
- ActiveImage Protector RE は通常通り管理者権限で インストールしてください。
- ③ ActiveImage Protector -RE インストール済みの環境に EVEシリーズを構築する場合は、 一旦 ActiveImage Protector -RE をアンインストールして から、EVEシリーズを構築してください。

⇒ コントロールパネル もしくはインストールファイルからアンインストール可能です

Act	ivelmage P	Protector 202	22		
Ver	sion 6.0.0.7	278			
Actij	phy Activelm	age Protector	を以下のパスにイン	ノストールします:	
C:¥	∉Program File	es¥Actiphy¥Act	tivelmage Protec	tor	
5471	MB の空き領域	咸が必要です。			
(ンフ	ストール タイプを	選択してください			
0	プロダクトキー	を使ってライセンス	くされたコンポーネン	トをインストールす	\$3 (?)
	ABCDEF	- 123456	- ABCDEF	- 123456	- ABCDE
] 12	ABCDEF 十 インス リモート コンソー ストール"ボタン	- <mark>123456</mark> ト ールするコンポー -ルをインストール をクリックするとと	- ABCDEF ・ネントを選択してく する ? 欠のものに同意した	- <u>123456</u> ください :ものとみなします	- ABCDE
 	ABCDEF + インスI リモート コンソー ストール"ボタン はび <u>プライパ</u> MSI インストー 関連製品をイ	- <u>123456</u> トールするコンボー -ルをインストール をクリックすると2 シーステートメント ラーを作成する(ンストールする ⑦	- ABCDEF -ネントを選択してく する ⑦ 欠のものに同意した ?	- <u>123456</u> ください こものとみなします	- ABCDE
 	ABCDEF 十 インスI リモート コンソー ストール*ボタン よび プライバ MSI インストー 関連製品をイ? Actiphy	- <u>123456</u> トールするコンポー -ルをインストール をクリックすると シーステートメント ラーを作成する (ンストールする (? y Boot Environn	- ABCDEF ネントを選択してく する ⑦ 欠のものに同意した こ- ⑦ ment Builder	- <u>123456</u> ください たものとみなします	- ABCDE
 	ABCDEF + インスI リモートコンソー ストール*ボタン はび <u>プライバ</u> MSI インストー 関連製品をイ へActiphy	- <u>123456</u> トールするコンポー ールをイソストール をクリックすると2 シーステートメント ラーを作成する(ンストールする(? r Boot Environr r HyperBoot	- ABCDEF -ネントを選択してく する ⑦ 欠のものに同意した 	- <u>123456</u> ください こものとみなします	- ABCDE

※ ActiveImage Protector 2022-RE インストール画面



バックアップ作成時の留意点





ActiveImage Protector –RE はVSS(Volume Shadow Copy Service)に対応しています。 VSSに対応しているデータベースであれば、データベースを停止することなく、 バックアップを作成することが可能です。



VSSリクエスタであるActiveImage Protector -REがバックアップを開始します。

2 VSSはVSSライタ(SQL Server、Exchange Server、Active Directory等)のトランザクションを同期してデータを静止化します。

3 ストレージのVSSプロバイダーはデータのシャドウコピーを作成します。

● 作成したシャドウコピーはVSSリクエスタに渡してバックアップイメージとして保存されます。

参考:バックアップコラム ~サーバー全体のバックアップ ~





EVE FA・MA におけるデータベースのVSS対応

② Oracle Database におけるVSS使用

③ バックアップ作成時におけるシステム(EVEシリーズ・ データベース)の停止方法



バックアップ作成時の留意点 ① EVE FA・MA におけるデータベースのVSS対応



- EVE FA・MAの両データベースともVSSに対応しています。
 - ◆EVE FA :Microsoft SQL Server もしくは Oracle Database
 - ◆EVE MA :Active Directory Lightweight Directory Service (AD LDS)
 - ※ VSSに対応しているためEVEシリーズ・データベースを停止することなくバックアップを作成することが可能です。
 - ※ バックアップの作成は、システムの利用が少ない(クライアントからのアクセスが少ない)時間帯に実行すること を推奨します。
 - ※ 安全性を考慮し、システム(EVEシリーズ・データベース)を停止したうえでバックアップを取得する場合は、 バックアップ作成時の留意点 <u>『③バックアップ作成時におけるシステム(EVEシリーズ・データベース)の停止方</u> 法』をご参照ください。







Oracle Databaseがインストールされたシステムでバックアップ作成時に、 ActiveImage Protector – REがエラー(終了コード-311)となることがあります。

- その原因としては、Oracle VSSライターが動作していない状態 (NOARCHIVELOGモード)である可能性があります。
 - ◆Oracle VSSライターを使用する場合は、ARCHIVELOGモードが必要です。
 - ◆Oracle DatabaseのデフォルトのインストールはNOARCHIVELOGモードのため、 Oracle VSSライターは動作しません。
 - ※ ARCHIVELOGモード に変更する場合は、<u>Oracle Database管理者ガイド</u>をご参照ください。
 - ※ NOARCHIVELOGモードを変更せずにシステム(EVEシリーズ・データベース)を停止したうえでバックアップを 取得する場合は、バックアップ作成時の留意点 <u>③バックアップ作成時におけるシステム(EVEシリーズ・データ</u> ベース)の停止方法」をご参照ください。

参考FAQ:<u>Oracleがインストールされているシステムで 終了コード -311が発生します</u>





安全性を考慮し、システム(EVEシリーズ・データベース)を停止したうえで バックアップを取得する場合、データベースの種類により、システムを停止・開 始するバッチファイル(.bat)を作成します。

作成したバッチファイルをActiveImage Protector –RE側のスナップショット実行前・実行後に実行するスクリプト(バッチファイル)に指定します。

- ◆EVE FA :Microsoft SQL Server
- ◆EVE FA :Oracle Database
- ◆EVE MA :Active Directory Lightweight Directory Service (AD LDS)



EVE FA : Microsoft SQL Server



スナップショット実行前:システムを停止するバッチファイル例

@echo off

net stop IDMServer

net stop FASrv

net stop MSSQLSERVER **

※ MSSQLSERVERの箇所は、選択されるSQLのエディション、バージョンによって異なる可能性があります。

スナップショット実行後:システムを開始するバッチファイル例

@echo off

net start MSSQLSERVER 💥

net start IDMServer

net start FASrv

※ MSSQLSERVERの箇所は、選択されるSQLのエディション、バージョンによって異なる可能性があります。



EVE FA : Oracle Database



スナップショット実行前:システムを停止するバッチファイル例

@echo off

net stop IDMServer

net stop FASrv

net stop OracleServiceFADB 💥

※ FADBの箇所は、作成されたデータベースインスタンスを指定してください。

スナップショット実行後:システムを開始するバッチファイル例

@echo off

```
net start OracleServiceFADB 💥
```

net start IDMServer

net start FASrv

※ FADBの箇所は、作成されたデータベースインスタンスを指定してください。







スナップショット実行前:システムを停止するバッチファイル例

@echo off

net stop MAServer

net stop ADAM_MAdb *

※ MAdbの箇所は、AD LDSインスタンスを作成する際の名称を記載ください。

スナップショット実行後:システムを開始するバッチファイル例

@echo off

net start MAServer

※ MAdbの箇所は、AD LDSインスタンスを作成する際の名称を記載ください。



参考:ActiveImage Protector – REにおけるスクリプトファイル指定方法

- システムを停止するバッチファイル(例:eve-stop.bat)、
 システムを開始するバッチファイル(例:eve-start.bat)を作成します。
- ActiveImage Protector REのコンソールを表示し、バックアップスケジュール タスクを作成または編集します。
- ③ [2保存先の指定]画面の [高度な設定]をクリックします。





Run in the Next



④ [スクリプト]項目の [スナップショット実行前に実行するスクリプト]にシステムを停止するバッチファイル (例:eve-stop.bat)を指定し、 [スナップショット実行後に実行するスクリプト]システムを開始するバッチファイル (例:eve-start.bat)を指定します。

ivelmage Protector			- r	7
(<u>○</u>) 表示(<u>∨</u>) 環境設定(<u>P</u>) ユ−ティリティ(<u>U</u>) /	1プ(円)			Ι,
server01 🗸				
7ップの高度な設定:				
設定				_
□ ディスクごとにイメージ ファイルを分割する	オットワークスDットルを使用する (最大 KB/秒)			
イメージを 0 MB 毎に分割する	図 ネットワークへの書き込み時にキャッシュを使用する			
□ 不良セクターを無視する	□ バックアップ時にあらかじめ仮想化処理を行う			
MD5 ファイルを作成する	📃 バックアップ タイムアウト: 12 💿 時間			
☑ アクセス不能のボリュームを無視する				
設定				-
操作モード: 😰				
◉ コンポーネント モード ○ 非コンポーネント モード				
除外ファイル:				
📝 ページ ファイル 🛛 ハイバネーション ファイル 📝	ystem Volume Information			
				-
実行前に一時ファイル フォルダーに必要な空き領域が不足し	·)246 :			
✓ 日期的にへ皆ノオルターへのり替える ⑦ 「通常圧縮」の設定でバックアップを従続する。				
一時ファイル フォルダー:				
c:¥windows¥temp				i.
err meerre camp				1
ブト				
スナップショット実行前に実行するスクリプト:		タイムアウト	実行設定:	
D:¥EVE¥eve-stop.bat		···· 30 分	ベースと増分	•
スナップショット実行後に実行するスクリプト:				
D:¥EVE¥eve-start.bat		30 分	ベースと増分	Ŧ
イメージ ノアイルパド以後に実行9る人クリノト:				-
		···· 30 分	ベースと増分	•
◎ バックアップ タスクの実行エラー時でも指定したスクリプトを	TING			





その他&お問い合わせ先





【EVEシリーズ × ActiveImage Protector –RE 連携サービス 紹介サイト】

◆株式会社ディー・ディー・エス <u>https://www.dds.co.jp/ja/cooperation/12855/</u>

◆株式会社ラネクシー <u>https://www.activeimage-re.com/alliance/eve.html</u>



なりすましとシステム障害からマシンをプロテクト









株式会社ラネクシー 第1営業本部 プロダクトソリューション部

https://www.activeimage-re.com/

EMAIL: aipre_sales@runexy.co.jp